

2009年度

科目名	日本文化史B		
担当教員	阪田 宗彦		
配当	文 2・教育2・人間2	コード	23650
開期	後期	講時	火曜日3限
		単位数	2
授業テーマ	正倉院宝物		
目的と概要	正倉院宝物がもつその由緒と特質及び現状について詳述し、7・8世紀の東西交渉史の一端を理解し、改めて21世紀の東アジア文化史のなかでの位置付けを考えてみようとするものです。スライド・ビデオを常時使用。		
成績評価法	レポート・平常点で評価します。特には小テストを行うこともあります。		
テキスト	使用しない。必要な参考文献は明示する。		
参考書	使用しない。		
履修に当たっての注意・助言			
講義計画			
<p>○ 正倉院宝物</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 正倉院の年中行事品 2. 正倉院の屏風 3. 正倉院の楽器 4. 正倉院の遊戯具 5. 正倉院の金属器 6. 正倉院の文房具 7. 正倉院の伎楽面と楽服 8. 正倉院からみる造形意匠と製作技法 9. 用途からみた正倉院宝物の内容及び伝存の量 10. 正倉院宝物の特質 11. 正倉院宝物伝存の意義 12. 正倉院宝物の復元事業 13. 正倉院宝物の保存科学 14. 正倉院宝物に見られる文様 15. 7・8世紀のわが国の外来文化の受容 			